

「岳陽」と共に

第 10 号

発行日
2023.8. 30
編集・発行
井上講四／堂本彰夫
※連絡先
〒901-2225
沖縄県宜野湾市
大謝名 3-13-24
教育協働研究所
～岳陽舎～
(井上講四宅)
Tel:098-963-9282
E-mail:
gakuyou17@outlook.jp

〇この世界は、一体どうなっている(く?)のか?!

先号(第9号)では、急遽予定を変更して、この夏の旅(福岡・岡山・鳥取)の中心に書いた。そこで、ここでは、元々予定していたテーマ(話題)で書いていきたいわけであるが、そこに予め書き記していたのは「金スマ」、そして、「ヒューマニエンス」というキーワードであった!しかしながら、果たして、どのようなことを書きたかったのか?残念ながら、その具体的な内容(具材?)が思い出せないでいる!何という、体たらくなのであるのか?!

ただし、見出しは、標記のようにしていたわけであるので、そういうことに関わる内容のことを書きたかったのである!おそらく、「金スマ」については、7月21日の【エンタメ界を変えた!「音楽の日」事務所の垣根を越えた90人ダンスコラボの裏側】という番組のこと、「ヒューマニエンス」については、毎回知らされる最新の研究成果からであろう(ちなみに、前者の番組は、直接視聴しているわけではない!)!!

とにかく、今改めて思うことは、世界が、「思っている以上が変わっている」、これまで当たり前だと思っていたことが、当たり前でなくなっている(気象等を含めて)!!そういうことが、あらゆる分野で起きているということである(教育も然り?)!!ちなみに、最近よく、「ニューノーマル(新しい普通?)」という言い方がされるが、問題は、それが、どのように、人々の生活(生き様)に影響を与えるかである!!全員が、うまく適応できるとは限らない!!そこにまた、新たな喜悲劇が生まれる!!

〇久しぶりの、沖縄での家族再会!懐かしいが、以前と違うものも多々あった?!

いずれにしても、そうこうしている間に、今年の盆休み(13〜15日)も、あつという間に過ぎ去ってしまった!そこでは、例の、怪しげな本土旅の、すぐ後の再会自体は、それほど喜びではなかったが(もちろんこの間のコロナ禍で、この面々での沖縄での再会は久しぶりではあったが)、懐かしさも手伝って、楽しく過ごさせてもらった(私の夏は、ここで終わったということ?)!

しかも、私自身は、腰や下肢の不具合があり、動きそのものは、まさに老体そのものであったが(何とも情けない)、何とか昔と同じような光景を再現しようと、精一杯の努力はしたつもりである(特に海での釣り)!!なお、この間、福岡で夜間保育の仕事をしている〇さん(北海道出身。ゼミ生ではない!)が訪ねて来たり(別便で、北海道の変わった?日本酒も頂いた!)、昨日(27日)は、今や恒例?となつている、これまた北海道出身の〇君(沖縄で小学校の先生をしている)がトウモロコシを持って来たりと、当時の若者達との再会も、それなりにあった!本当に、有難いものである!

思うに、今やこういう機会(再会)も、めっきり少なくなつており(もちろんコロナのせいでもある?)、こうした訪問は、非常に貴重で、その中で、他の若者達の近況(消息?)等も知れるのである!ということ、出来たら、彼らとも、またいつか出会えればなあとも思う次第である!やはり、時は過ぎ去っているわけである!

〇最後(最終?)に書くべきこと?!

ところで、これについては、以前どこかにも書いたかと思うが、そしてまた、多分これが、もう一つ、先号(9号)のために書き記せなかったことでもある?が、一つケリ?をつけておかなければいけないことがあるということである!ただし、その思いは、この間の様々な出来事によって、かなり色褪せたものとなつてはいる!!やはり、物事には、「旬」というものがあるということである!!否、それはまた、機が熟していないということでもある!!

まあ、それはともかく、改めて、それは、私(達?)が、ここで「最後(最終?)」に書くべきことは何か?ということであるが、たとえそれがどのようになるうとも(結局は、実現しないこともある)ということである?、一応(二度?)は、事前に明示しておきたい、言い換えれば、途中で?、自分(達?)に言い聞かせておきたいということである(ちなみに、忘れないために?笑)!!

ということ、私(達?)と同じ「古希」を過ぎてしまった人でも、毎日が忙しい、あるいは他にやる事が山ほどあつて、とてもそういう「暇人の戯言?」には付き合つてはおられないという人もいるであろうが、少なくとも、これまでの私(達?)からすれば、これは、とても大きな宿題(卒業課題?)でもあるわけである!!

要は、故あつて、ある意味不本意な?日々を、既に7年以上も送ってきた私(達?)であるが、もうそろそろ、そうした心持ち(過去への拘泥?)は脱して、真の老後?を送り始めなければ(否、楽しまなければ?)いけない!!そうでなければ、はつきり言つて、自分自身がみつともない(惨めだ?)ということである!!そんな思いが、ここに来て募つているということである!!

ついでながら、その最後(最終?)に書くべきことは、「教育」「沖縄」「古代史」のことであるが(だが、本当の最後(最終)は、「家族」のことかも?)、問題は、いつの時点で、それらを書き記して(否、残して)いくかである!!今は、まだ何とも言えない!とにかく、「その時」が、それぞれ来るはずである!!ただし、その予備作業は、今、ほとんどは終わつている!!(井上)

「そんな中、見つけ出してしまった、別の次元での、もう一つの過去?」

ということ、表に最後に記された、I氏の思い(最後(最期?)に書くべきこと?)であるが、やはりそこには、まさに「終活」に向けてシフトしているI氏の姿(心の動き)が垣間見えるわけである!!したがって、もう一つの問題は、それに連動して、私堂本の方は、どのように、それに絡んでいけばよいのかということとなる!!

そんな中、改めて、表の記事とは、直接には連動しないが(否、そうでもないか?)、いつものように、一日の最後の仕事?ということ、深夜(正確には早朝?)、パソコンに残していると思われた、ここ(宜野湾市の大謝名に移り住んだ直後の頃の書き物(現在、HP上に乗せている書き物とは違う、もう一つの、言うなれば、隠された秘密の書きモノ?))を見つけてしまった!それは、私達(直接的にはI氏!)の、表には出していない、「別の次元での、もう一つの過去?!!」ということでもある!!

ほとんどが、未完のもので(私小説的なものもある!)、いつかは書き上げようと思つての、まさに「途中」の代物ばかりではあるが、その時はその時で、精一杯の思いを込めて書いたものであろう!ちなみに、I氏の、大学院時代の提出レポート(打ち換え)も収録されている!

ただ、今改めてそれを見ると、ほとんどが、私堂本の作品となつており、それを、今更どうすればいいのか、いささか困惑しているわけでもある!!しかし、折角同じパソコンのフォルダーに入れてあるわけであるので、何とか整理しておかなければならない!!否、いつかは、これもまた、「その時」が来たら、何らかの形で葬らなければいけない!!

そんなこんなで、パソコンとは厄介なものである!!自らの生きてきた証し(青春時代も含めて)を文字(画像も!)で残せるが、その始末は、自らの操作でやり遂げなければならぬ!!まさかこんなことで悩まされようとは...

○改めて書き始めた? 「新・教育協働への道」!

ちなみに、最近の書き物から、私(達?)の、特に「教育」に関わる論考に、かなりの弱気(諦め?)が窺(うかが)ひ始められていることは、誰にでも分かると思うが、ただそれだけであれば、やはり何とも情けない(悔しい?)!まだまだやらなければ、頑張っている人達に申し訳ない?否、自らの老いに、ただ負けている!!そんな思いも、離れずにある!!

それ故に、この夏の暑さともおさらばということ(実際は、まだまだ暑い!)、別コーナー「新・教育協働への道」をみてもらえばと思うが、新たに(ただし、これは何度目かな?)、そして元気に、次なる?歩みを始め出した!!

とにかく、まだまだ止まつてはいけない、否、止まつていたら、ある意味(状況次第では?)、絶好の(「真正正銘最後の?」)機会を逃すかもしれない!!だから、もう少しだけ頑張つてみたい!!そう思つてのことだということである!!

※そこで、もしよかつたら、そして、興味のある方は、是非こちらのページ(別コーナー)も、笑読下さい。

・ ニューノーマル その物言いに 何がある?
混乱だけなら アブノーマル?

・ 久し振り 顔を合わせた 全家族
同じようだが 同じではなし!

・ 最後に書くべきこと!!
そんなことまで 何故記す? 誰のため?

・ 断捨離? それとも終活?
我が秘かな書きモノ 如何に葬る?

〈特別コーナー〉堂本彰夫の古代史旅枕⑩

○開花天皇、高良大神、武内宿禰、住吉大神、神功皇后の絡み? そこが解明されれば、一気に謎は解ける!!

話は、ここ(で)がらりと変わるが、いわゆる「大和朝廷(厳密には、8世紀初頭の持統・藤原政権)」が、記紀の編纂(ひよつとしたら『日本書紀』だけ?)を通して(「神話」の創作を含む)、自らの政権の正統性・正当性を言い募り(でつち上げ?)、都合の悪い(本当は真実であった!)過去の歴史を歪曲あるいは改竄して、かの(自分達に都合の良い?)「万世一系の系譜を創り上げた」ということは、ほぼ間違いないということ(しかし、現時点では、このことさえも、まだまだ真実とは捉えられていない?)、そして、その中で、最も核心の部分となるのが、まさに現在追跡?中の開花天皇(玉垂命↓老松?)、「高良大神(高良大社↓太宰府天満宮?)、武内宿禰(藤原大臣?)、住吉大神(塩土老翁?)、そして、神功皇后(息長足姫)の絡み?」なのではないかということである!

ただし、いずれにしても、その「絡み?」の解明で難しいのは、そこにあった「旧奴(那)国(倭奴国?)」の存続状況であり(例の「帥升王」や本来の奴(那)国王であった?)、「大幡王(大君子命/武埴安彦?)」の存在↓多分そこに、かの「卑弥呼」「邪馬台国」の出現が関係している?)、その後の「老(巨)与」「神功皇后」に仮構されている?)勢力の移動変質の過程であることは言うまでもない!!

端的に、かの2世紀末の「倭国大乱」が、どのような勢力によって、どのように引き起こされたのかということである(そこから我が国の形/倭国↓日本が作り出されてきた?)、このコーナーで話題としているのは、そこでの「開花天皇(玉垂命↓老松?)」、そして、「武内宿禰(九州中南部から北上してきた「熊襲」勢力↓姫/紀氏?)」らが、それらとどのように関わっているのかということである!!そしてまた、その攻防・交わりの地が、高良大社と背振山系周辺であったということである!!(堂本)

〈編集後記〉今回は、いつもの台風とともに、その間にあった、友人との再会、家族旅行等、そして、そこにおける数々のハプニングが、ここでの記事作成に大いに関与し、予定していた題材もほとんど瓦解!!しかし、一応は、書きたかったことは書けた!!そういうことである!なお、古代史の方は、改めてこれからである!福岡への旅は、今後とも増えるかもしれない!(井上/堂本)